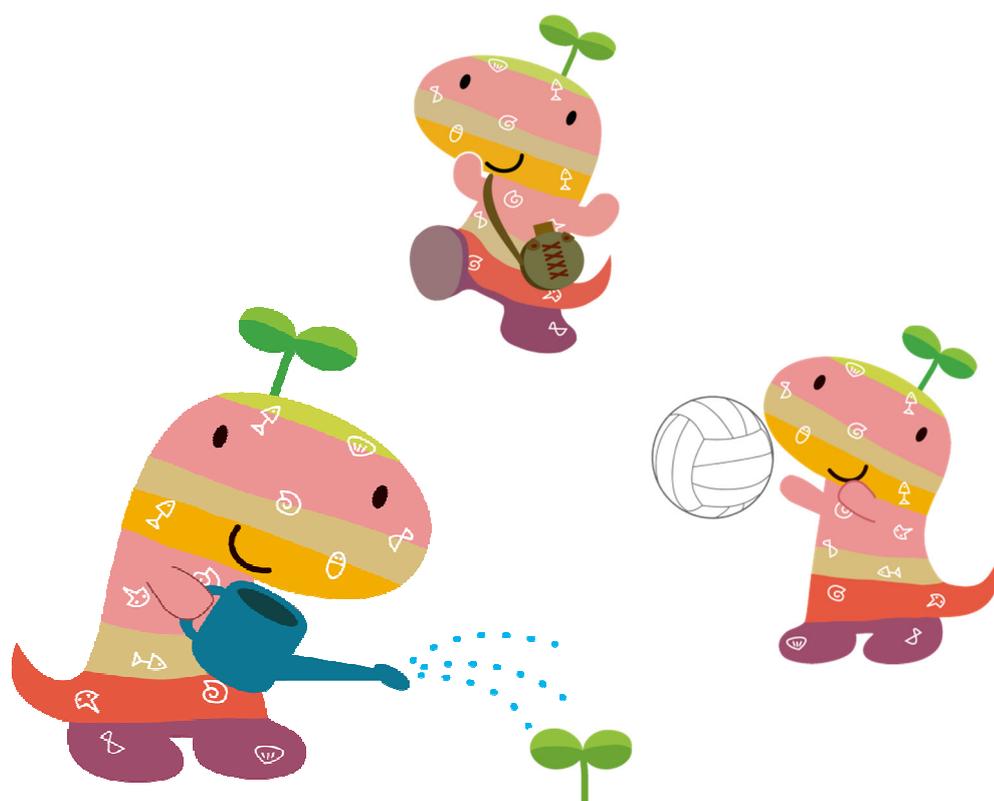


丹波市生涯学習基本計画

概要版



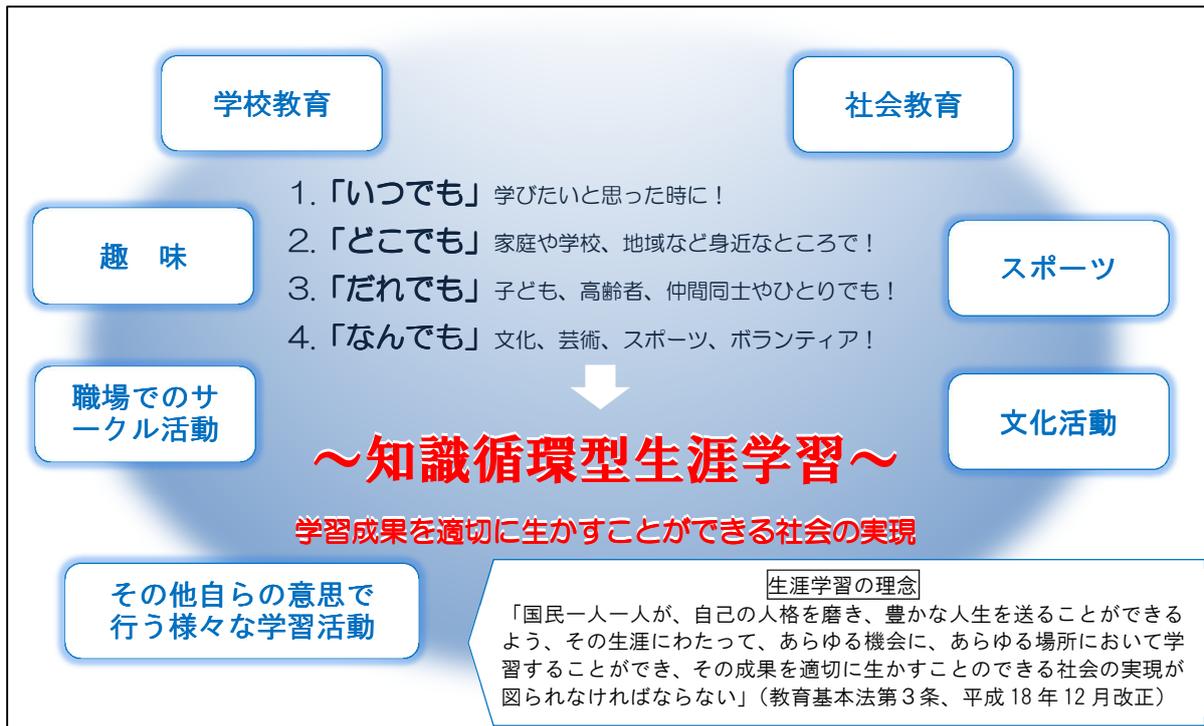
平成27年4月

丹波市

1 計画の策定にあたって

生涯学習とは

- ◆「生涯学習」とは、人が生涯にわたって、いつでも、どこでも、自由に行う学習活動のこと。
- ◆学校教育や、社会教育などの学習機会に限らず、個人や団体等自らの意思で行うスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動、職場での様々な学習活動のことをいいます。



計画策定の趣旨と計画の期間

- ◆本市を取り巻く社会は、情報化や少子高齢化など絶えず大きく変化し、核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化などにより、子どもたちが家庭や地域の中で様々なことを学ぶ機会が減少しています。こうした状況に対応するためには、地域社会を構成する一人ひとりの個性や多様性が尊重され、市民が地域の担い手として力を発揮することが重要です。
- ◆本市では、市民が生涯を通じて主体的に学び、学習成果を実践に生かし、その中からさらに新たな課題へと挑戦する“知識循環型生涯学習”のまちづくりを推進するため、基本構想を平成27年度から36年度までの10年間とする「丹波市生涯学習基本計画」を策定しました。本計画では、平成27年度から31年度までの前期期間において具体的な施策を定め推進することとしています。



基本構想 H27 年度～H36 年度（10 年）

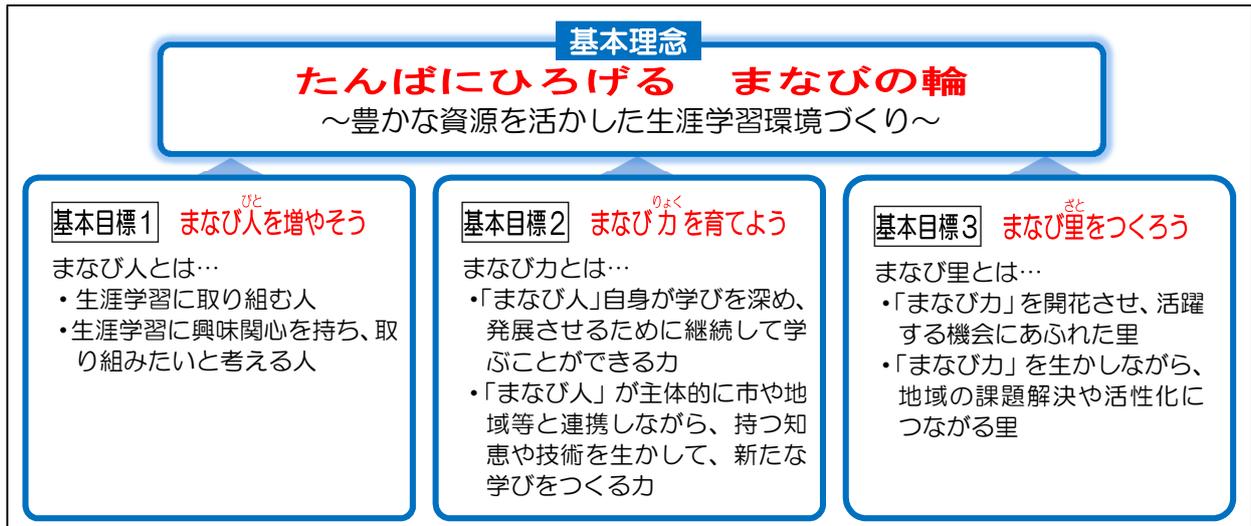
計画の推進（前期 5 年）
H27～H31

計画の推進（後期 5 年）
H32～H36

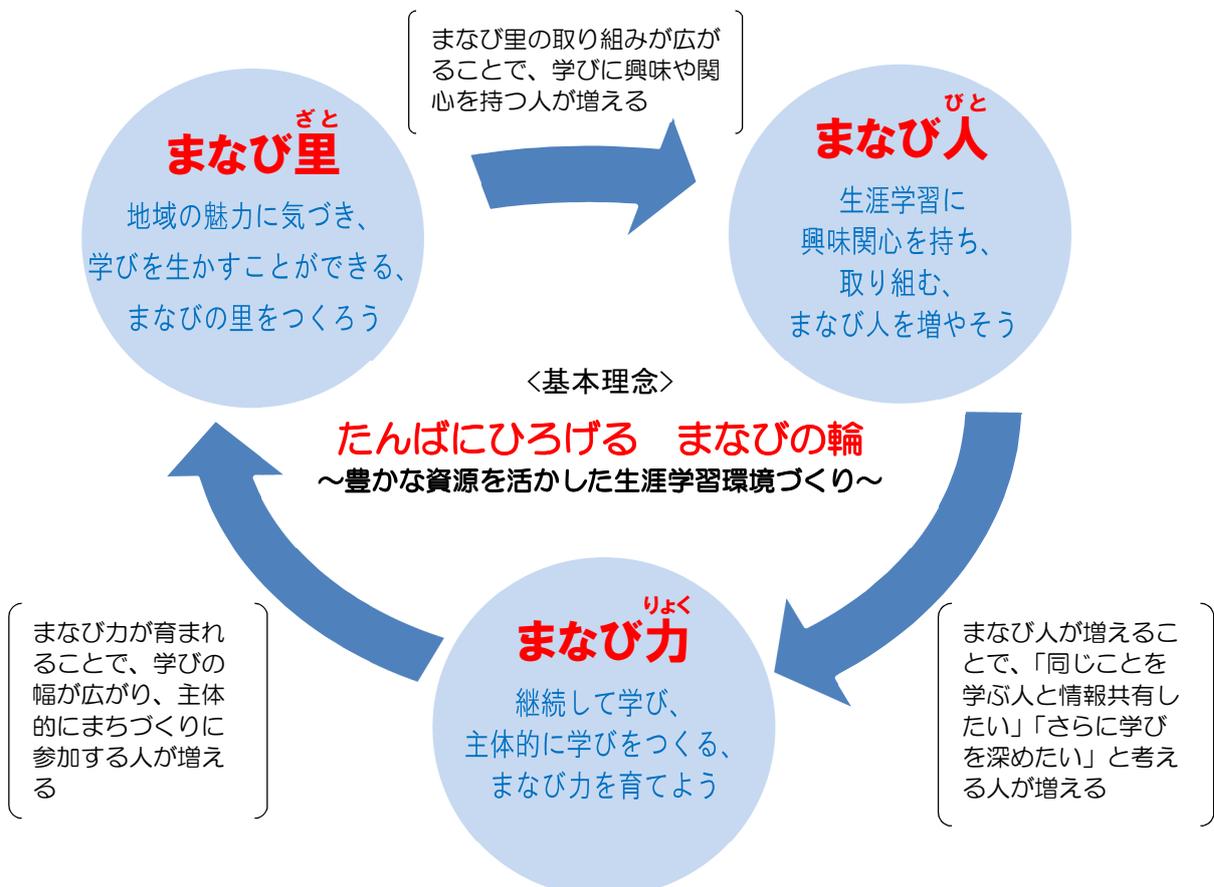
2 基本構想

基本理念と基本目標

- ◆本計画では、次の基本理念と3つの基本目標を掲げ、第2次丹波市総合計画のまちづくり目標を踏まえながら、市民と行政が協働し、“まなびの輪”をひろげ、学びを通して地域課題を解決する、市民が主役の豊かな地域力の向上をめざします。

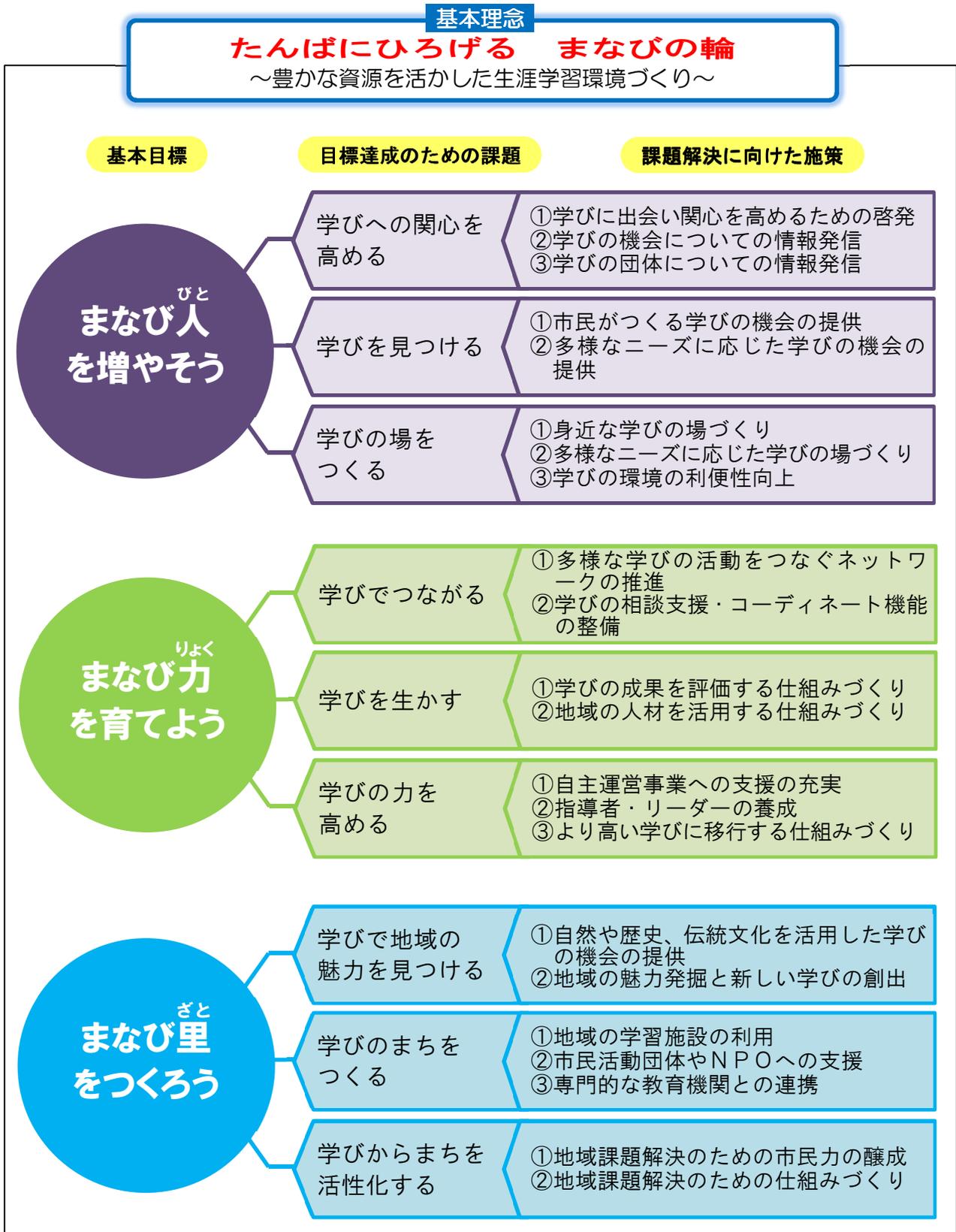


知識循環型生涯学習のイメージ



施策の体系

◆基本理念に掲げる“まなびの輪”を広げ、知識循環型生涯学習の推進のための3つの基本目標の達成をめざし、それぞれの課題解決に向けた具体的な施策を展開します。



3 計画の推進

基本目標 1 まなび人を増やそう

～生涯学習に興味関心を持ち、取り組む、まなび人を増やそう～

課題(1) 学びへの関心を高める

～積極的に学びに出会い、学びへの興味や関心を高めます～

これまで生涯学習に取り組んだ経験の有無にかかわらず、様々な機会や方法を活用しながら積極的に学びにふれ、学ぶことの大切さを理解することが重要です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ① 学びに出会い関心を高めるための啓発
- ② 学びの機会についての情報発信
- ③ 学びの団体についての情報発信

課題(2) 学びを見つける

～個人の関心やニーズに合った学びを見つけ、深め広げます～

情報通信の急速な普及やグローバル化による世界規模の情報が行き交う時代となり、学びのテーマも多岐にわたります。多種多様な学習テーマの中から、自分の興味や関心のある学びを見つけ出し、深め広げていくことが大切です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ① 市民がつくる学びの機会の提供
- ② 多様なニーズに応じた学びの機会の提供



課題(3) 学びの場をつくる

～個人の学びの活動をさらに深め、広げるための環境を整えます～

生涯学習を推進するためには、障がいの有無や年齢、職業等に関係なく、一人ひとりの意欲やテーマ、学習時間等に応じて自由に学ぶことができる環境づくりが必要です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ① 身近な学びの場づくり
- ② 多様なニーズに応じた学びの場づくり
- ③ 学びの環境の利便性向上

基本目標 2 まなび力を育てよう

～継続して学び、主体的に学びをつくる、まなび力を育てよう～

課題(1) 学びでつながる

～個人の学びを発展させるため、「まなび人」同士が学び合い交流します～

現代的課題や地域課題は多様化し、個々の課題解決に向けた学習ニーズに対して、生涯学習関係機関や施設、団体が個別に対応することは困難であり、有機的に連携し補完し合えるネットワークを構築することが必要です。

また、「まなび人」同士がつながり交流することで、共に課題解決に向けた力を高めていくことも重要です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ①多様な学びの活動をつなぐネットワークの推進
- ②学びの相談支援・コーディネート機能の整備

課題(2) 学びを生かす

～学びで得た知識・技能などを地域の発展のために生かします～

学んだことを他の人々や地域のために生かしたいという意欲も高まっていますが、活動成果を生かす機会は必ずしも十分ではありません。しかし、学び得た知識や技能などを地域課題の解決のために生かす意欲を持つことは、社会貢献という意味でも大切です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ①学びの成果を評価する仕組みづくり
- ②地域の人材を活用する仕組みづくり

課題(3) 学びの力を高める

～自らが指導者・リーダーとなり、学びのパワーアップを目指します～

地域の活性化には、市民の学びをさらにパワーアップできるよう、学びの活動を支える人材の養成や団体の企画運営力の向上を図る仕組みづくりが重要です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ①自主運営事業への支援の充実
- ②指導者・リーダーの養成
- ③より高い学びに移行する仕組みづくり



基本目標 3 まなび里をつくろう

～地域の魅力に気づき、学びを生かすことができる、まなびの里をつくろう～

課題(1) 学びで地域の魅力を見つける

～学びの活動を通じて、地域の魅力発見に貢献します～

本市には、豊かな自然をはじめ、長年にわたり受け継いできた歴史や文化があります。守り育てられてきた地域資源は私たちの誇りであり、「丹波市らしさ」をつくり育てるものです。自然環境の保全や伝統文化の継承など、地域に根ざした学びを通じ、人々の絆を強くし、地域への愛着を高める取り組みが必要です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ①自然や歴史、伝統文化を活用した学びの機会の提供
- ②地域の魅力発掘と新しい学びの創出



課題(2) 学びのまちをつくる

～地域や団体が育ち、学びのまちづくりに貢献します～

学びの活動に関わる団体や施設、事業者などの学習資源を利用し、連携した取り組みを行うことで事業効果を高め、「まなび力」が育まれた「まなび人」を増やしていくことが重要です。

〔課題解決に向けた施策〕

- ①地域の学習施設の利用
- ②市民活動団体や NPO への支援
- ③専門的な教育機関との連携

課題(3) 学びからまちを活性化する

～学びの成果を活かして、市民が公共サービスの担い手となり、地域に貢献します～

地域で抱える課題・ニーズが多様化し、行政だけではきめ細かい対応をすることには限界があります。このような課題・ニーズに対応するためには、市民が公共サービスの担い手になり、課題解決に向け行政と協働して取り組むことが重要です。

〔課題解決に向けた施策〕

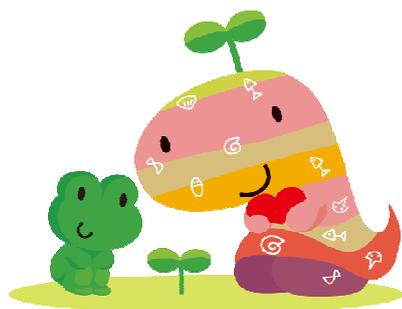
- ①地域課題解決のための市民力の醸成
- ②地域課題解決のための仕組みづくり

基本理念の実現に向けた数値目標

本計画では、基本理念の実現に向けて数値目標を設定し、計画を推進していきます。

定期的に生涯学習に関する市民意識調査を行い、市の最上位計画である、第2次丹波市総合計画の“まちづくり指標”や本計画の基本目標ごとの指標、市の行政施策評価に基づく指標設定により、目標値の達成状況を評価していきます。

基本目標	指標名 (シンボル指標)	基準値	目標値		説明
		平成 25年	平成 31年	平成 36年	
まなび人 を増やそう	1年以内に生涯学習を行った市民の割合	60.2%	65.0%	70.0%	生涯学習活動の実施状況を推定するもの。
まなび力 を育てよう	学びの活動で身についた知識や技能を生かしたいと思う市民の割合	30.7%	35.0%	40.0%	知識の循環を目的とした学びの活動の意欲を推定するもの。
まなび里 をつくらう	学びやすい環境が整備され、自分の周りが学びにあふれていると感じる市民の割合	—	増加		学びが地域に根付き、まなび里の形成を推定するもの。



丹波市生涯学習基本計画

【概要版】

発行：丹波市まちづくり部市民活動課

平成27年4月

〒669-3692 丹波市氷上町成松字甲賀1番地

TEL 0795-82-0409 FAX 0795-82-4370